

# 半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問い合わせ	教育部博物館（新美南吉記念館） 館長 遠山光嗣 0569-26-4888
-------	--

令和4年11月30日提供 (事前情報・事後情報)

名称	第34回 新美南吉童話賞 審査結果について
日時	募集期間 令和4年6月1日（水）から9月10日（土）
場所	新美南吉記念館
主催者	半田市教育委員会
参加者／対象者 氏名・年齢など	応募内訳【自由創作部門】・一般の部 766 編(844 編)・中学生の部 604 編 (559 編)・小学生高学年の部 43 編(41 編)・小学生低学年の部 59 編(38 編) 【新美南吉オマージュ部門】369 編(318 編)合計 1,841 編(1,800 編) ※（ ）内は、前回（令和3年度）の実績
趣旨 (目的)	郷土出身の童話作家・新美南吉とその作品を、また、ふるさと半田を広く知ってもらうために創作童話を募集しました。その結果、45 都道府県から応募があり、応募総数は 1,841 編となりました。11 月 6 日（日）に最終審査会が終了し、入選者が決まりましたので報告します。
内容	審査結果は別紙のとおりです。今回初めて、新美南吉オマージュ部門から最優秀賞が選出されました！選出作品の「きつねの母さん」は最優秀賞とオマージュ部門大賞のダブル受賞となります。新美南吉記念館ホームページにて、受賞者、一次審査通過者、最優秀賞作品を公表します。令和5年2月18日（土）14時より市民交流センターにて表彰式を開催し、併せて入選作品集「赤いろそく」を発行します。 ※表彰式は新型コロナウイルスの感染状況により、規模を縮小して実施する場合があります。
担当者 情熱メッセージ	今年度も大変多くのご応募を頂きました。受賞作品は、新美南吉作品に通じる温かさが感じられると審査員より高い評価を受けています。
別紙	有 ・ 無
写真	事前提供可 ・ 事後提供可

半田市企画課広報担当  
0569-84-0605

